

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年1月22日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年1月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の循環ラインタンク入口弁グランド部からの漏えいについて】 地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の循環運転時に、循環ラインタンク入口弁のグランド部から漏えいを確認。 現在、一時貯留タンクグループ1は循環運転を停止し、グランド部からの漏えいは停止。 今後、点検・修理予定。	GⅢ	1月14日
2	【H5およびH6エリアタンク設置工事における仕様の相違について】 H5およびH6エリアのタンク設置工事では、タンク側部マンホールのフランジ材にはSFVC2Aを使用する仕様となっていたが、現地で使用材料の確認を刻印等により行った結果、タンク3基においてSS400のフランジ材が納入されたことが判明。 今後、対象の3基については、材料を点検し完成予定。	GⅢ	1月16日
3	【除染装置ロボット(C)のケーブル損傷について】 除染装置ロボット(C)のケーブルに損傷を発見。 当該ケーブルを新品に交換予定。	GⅢ	1月18日